



浪江中学校

双葉郡浪江町大字川添字南大坂 28



地域の拠点校として 歩んだ誇りある校風

浪江中学校は、1970（昭和45）年に旧浪江中、大堀中、苅野中の3校が統合し、新たな浪江中学校としてスタートしました。1972（昭和47）年には、太平洋の荒波を丸くデザインした校旗と、いわき市出身の詩人・草野心平氏、日本を代表するクラシック作曲家・團伊玖磨氏による校歌が制定されました。学校生活では、文部科学省の「学力向上フロンティアスクール」「学力向上拠点形成事業推進校」の指定を受けるなど、学力向上に力を入れてきました。また部活動においても県大会、東北大会、全国大会にも多くの部が出場し、好成績を収めていました。またボランティア活動でも2008（平成20）年に10年以上にわたる浪江駅清掃に対して東日本旅客鉄道株式会社より感謝状が贈られるなど、地域の拠点校として歩んできました。

校歌

作詞／草野 心平 作曲／團 伊玖磨

1. 阿武隈の 山脈はるか
群青の 天に雲沸き
仰ぎ見る 若人われら
おお 友よ 相集い
扶けあいつつ ただ一途
扶けあいつつ 真理きわめん
浪江 浪江 われらが母校
栄えある校旗
風にたなびけ
2. 太平洋 永遠にとどろき
注ぎ入る 高瀬 泉田
ここに建つ 白き学び舎
おお 友よ おおらかに
強くはげしく ひたすらに
強くはげしく 理想を生きん
浪江 浪江 われらが母校
その精神よ
光り輝け

沿革

昭和22年 4月	浪江小学校に併置し開校	平成13年 11月	北棟第一期大規模改修工事
25年 9月	新校舎落成	14年 4月	文部科学省学力向上フロンティアスクール指定
29年 2月	学校給食開始	14年 8月	全日中柔道大会男子個人出場
32年 3月	校歌制定（作詞／和田甫 作曲／天野秀延）	14年 11月	北棟第二期大規模改修工事
32年 9月	中学校創立 10 周年記念大運動会開催	15年 8月	全日中柔道大会男子個人女子個人出場
33年 2月	創立 10 周年記念学習発表会開催	16年 1月	全日本卓球選手権大会女子個人単出場
42年 11月	中学校創立 20 周年記念式典	16年 3月	全日中卓球大会女子団体出場
43年 3月	浪江中学校同窓会結成	16年 11月	全日本卓球選手権大会女子個人単出場
45年 4月	学校統合により浪江中学校創設	17年 3月	全日中卓球大会女子団体出場
46年 3月	統合校舎第一期工事完成	17年 4月	文部科学省学力向上拠点形成事業推進校指定
47年 2月	校庭・校歌制定	17年 8月	全日中卓球大会女子団体出場 全日中剣道大会女子個人出場
48年 8月	プール完成 体育館完成	17年 11月	全日本卓球選手権大会女子個人単出場 全日本中学校英語弁論大会出場
53年 6月	校庭全面芝生張り	19年 6月	体育館ステージ用大型電動スクリーン設置
54年 11月	文部省指定生徒指導研究会	19年 8月	全日中水泳大会男子 100m 自由形出場
55年 11月	統合 10 周年記念歌碑建立	20年 10月	10年以上にわたる浪江駅清掃ボランティア活動に 対し東日本旅客鉄道株式会社より感謝状
58年 2月	西地区学校給食共同調理場落成	21年 8月	全日中陸上競技大会女子走幅跳出場
60年 8月	全日中柔道個人出場	22年 8月	全日中陸上競技大会男子走高跳・女子走幅跳出場
60年 10月	県 PTA より PTA 団体表彰	22年 9月	体育館耐震補強工事
61年 1月	全国安全優良校表彰	22年 11月	太陽光パネル設置工事
62年 3月	全日中ソフトボール大会出場	23年 3月	東日本大震災および原発事故のため臨時休業
平成元年 6月	相撲場完成	23年 8月	二本松市針道に設置場所を変更して学校を再開 校名表札を設置（馬場町長）
元年 11月	統合 20 周年記念式典	24年 5月	遍照寺住職・柴義彰様よりノートパソコン 25 台寄贈
2年 3月	全日中ソフトボール大会出場	24年 7月	チェコ保護滞在プログラム参加
3年 3月	校舎落成（多目的ホール）	26年 2月	サウジアラビア王国皇太子との接見
3年 8月	全日中陸上競技大会出場 全日中相撲大会個人出場	27年 12月	全国人権作文コンテスト学校賞
6年 6月	体育館改修工事	28年 1月	日産財団理科教育助成金受領
7年 8月	全日中女子バレーボール大会出場 放送設備全面改修完了	28年 7月	文部科学大臣視察
8年 4月	福島県書写書道研究推進校	29年 1月	「浪江と多摩をつなぐふるさとをつどい」参加
9年 1月	国際協力に関する作文郵政大臣賞受賞	29年 3月	自主制作 CD・DVD「未来への光へ」完成
9年 8月	全日中女子バレーボール大会出場	29年 8月	日本テレビ「24時間テレビ」出演
9年 10月	全日本書写書道教育研究会公開	30年 3月	浪江中学校記録誌作成
10年 8月	全日中柔道大会女子個人出場	30年 7月	日産財団理科教育賞受賞
11年 8月	全日中柔道大会女子個人出場	31年 3月	休校
12年 8月	全日中柔道大会女子個人出場	令和 2年 7月	浪江中学校見学会を開催
12年 12月	南棟大規模改修工事	3年 3月	閉校
13年 8月	全日中柔道大会女子個人出場		

「ふるさと追想」

浪江のこころ通信

平成 25 年広報なみえ
12 月号より抜粋



浪江の友達と、社会人になって出会いたい

今泉 翔太さん（福島東高）

震災当日は中学校の卒業式で、家に帰っていました。家の一部が壊れましたが、家族は無事でした。その後の避難所の生活は本当に長く感じられました。避難先の福島東高校に編入し、ずっと続けていた野球部に入部しました。ショートを守り、3年生の春は東北大会ベスト4、夏は県大会ベスト4という成績を残すことができました。来年春、野球推薦で大学に進学することが決ったので、選手として活躍できるように頑張りたいです。将来は教員になって、高校野球の監督を目指したいです。これからは僕らが社会の主役になって活躍することになります。バラバラになってしまった浪江の友達と、社会人として活躍する姿で会えることを願っています。

震災前の学校の風景



卒業メッセージ



授業風景



地区大会



壮行会



震災前の校舎



秋桜祭

震災・原発事故からの道のり

発災の日には卒業証書授与式の日。浪江中学校は、町民の避難所になりました。停電の中、暗く寒い一夜を過ごし、その後の原発事故のため全町避難。生徒は避難先の学校に区域外就学することとなりました。そして町機能の移転先二本松市で準備を進め、8月には、二本松市旧針道小で中学校を再開しました。震災当時398人だった生徒は32人に減ってしまいました。翌2012（平成24）年3月には浪江中学校卒業式が行われ、14人の卒業生を針道校舎から初めて送り出しました。

震災の年も途切れることのなかった浪江中の伝統である文化祭「秋桜祭」は、2018（平成30）年度は全校生4人が力を合わせて学習の成果を発表しました。針道校舎からは2018（平成30）年度まで計95人の卒業生を送り出しました。

しかし浪江中学校の輝かしい伝統は、なみえ創成中に引き継がれていくと思います。



浪江小学校・浪江中学校合同開校式（2011年8月）



卒業式（2012年3月）



郡山市にて、子ども交流会（2012年8月）



秋桜祭（2013年）



校外学習（2015年度）



漁港見学（2018年度）